

## 5 「必要な収入や所得」の実感

### ① 分野別実感の概況

#### ア 分野別実感の推移

実感平均値は 2.53 点であり、基準年調査より 0.11 点低下しています。

t 検定を行った結果、基準年調査に比べて有意に低下していることから、当該分野の実感  
は低下していると考えられます。

#### イ 属性別の状況

##### ○ 令和 5 年県民意識調査の状況

- ・ 職業別では、「臨時雇用者」が低く、「会社役員・団体役員」が高くなりました。
- ・ 子の人数別では、「子どもはいない」が低く、「3 人」が高くなりました。
- ・ 広域振興圏別では、「沿岸広域振興圏」が低く、「県央広域振興圏」が高くなりました。

##### ○ 令和 5 年県民意識調査と基準年調査との比較

基準年調査と比較して有意に変化した属性は表 7 のとおりでした。

表 7 「必要な収入や所得」の実感において有意な変化があった属性と基準年差

属性		H31	R 5	R 4 - H31
県計		2.65	2.53	▲ 0.11
性別	男性	2.68	2.50	▲ 0.17
年代	20～29 歳	2.66	2.30	▲ 0.36
	70 歳以上	2.75	2.55	▲ 0.21
職業	自営業主	2.86	2.57	▲ 0.28
	常用雇用者	2.72	2.60	▲ 0.13
世帯構成	夫婦のみ	2.76	2.59	▲ 0.17
	2 世代世帯	2.62	2.50	▲ 0.12
	3 世代世帯	2.72	2.54	▲ 0.19
子の数	1 人	2.70	2.38	▲ 0.32
	子どもはいない	2.53	2.38	▲ 0.15
居住年数	20 年以上	2.66	2.53	▲ 0.14
広域振興圏	沿岸広域振興圏	2.71	2.41	▲ 0.30

### ② 分野別実感が低下した要因

- ・ 県民意識調査の結果、実感が有意に低下した属性は、表 7 のとおりであり、年代別「20～29 歳」及び「70 歳以上」、職業別「自営業種」、子どもの数別「1 人」並びに広域振興圏別「沿岸広域振興圏」で低下幅が大きい傾向にあります。
- ・ 補足調査で把握している「分野別実感の回答理由と関連が強い要因」において、実感が低下した人が選択した上位 3 位の項目は以下のとおりでした。
  - (ア) 自分の収入・所得額(年金を含む)
  - (イ) 家族の収入・所得額(年金を含む)
  - (ウ) 家族の支出額
- ・ 補足調査結果において、実感が低下した人と、実感が横ばい又は上昇した人の「分野別実感の回答理由と関連が強い要因」の項目を比較すると、「家族の支出額」において、実感が横ばい、上昇した人の回答が少ない一方で、実感が低下した人で回答が多くなっていました。
- ・ 以上を踏まえ、当該分野の実感が低下した要因は、「自分の収入・所得額(年金を含む)

が十分とは言えないこと（年金だけでは生活が不安、物価の高騰など）」、「家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと（年金額の低下、妻の所得の低下など）」及び「家族の支出額が多いこと（生活必要経費の支出の増加など）」であると推測されます。

### ③ 一貫して高値又は低値で推移している属性とその要因

- ・ 平成 28 年から令和 5 年までの県民意識調査で、一貫して高値（4 点以上）で推移している属性はなく、低値（3 点未満）で推移している属性は表 8 のとおりでした。
- ・ ほぼ全ての属性において一貫して低値で推移しており、令和 5 年補足調査の「分野別実感の回答理由と関連が強い要因」として選択された項目において、「あまり感じない・感じない」と回答した人が選択した上位 3 位の項目は、「自分の収入・所得額（年金を含む）」、「家族の収入・所得額（年金を含む）」、「自分の支出額」でした。
- ・ 令和 4 年までに、過去 2 回以上実感が低い要因として推測されたものは、「自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと」、「家族の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと」及び「自分の金融資産の額が十分とは言えないこと」でした。
- ・ 以上のことから、「自分の収入・所得額（年金を含む）が十分とは言えないこと」、「家族の収入・所得額（年金を含む）」及び「自分の支出額が多いこと」が、低値で推移している要因として推測されます。

表 8 「必要な収入や所得」の実感において低値で推移している属性

属性		H28	H29	H30	H31	R 2	R 3	R 4	R 5
県計		2.44	2.58	2.45	2.65	2.56	2.77	2.57	2.53
性別	男性	2.46	2.60	2.47	2.68	2.55	2.75	2.55	2.50
	女性	2.43	2.56	2.43	2.61	2.58	2.79	2.59	2.55
年代	20～29 歳	2.48	2.51	2.44	2.66	2.49	2.68	2.40	2.30
	30～39 歳	2.44	2.47	2.42	2.51	2.36	2.71	2.50	2.47
	40～49 歳	2.51	2.56	2.52	2.66	2.50	2.82	2.62	2.57
	50～59 歳	2.46	2.52	2.49	2.60	2.52	2.75	2.58	2.53
	60～69 歳	2.37	2.57	2.40	2.63	2.59	2.77	2.54	2.55
	70 歳以上	2.46	2.70	2.45	2.75	2.65	2.80	2.61	2.55
職業別	自営業主	2.53	2.69	2.58	2.86	2.63	2.86	2.62	2.57
	家族従業者	2.61	2.85	2.42	2.91	2.73	2.81	2.78	2.66
	常用雇用者	2.58	2.66	2.55	2.72	2.60	2.86	2.67	2.60
	臨時雇用者	2.20	2.31	2.30	2.56	2.39	2.65	2.38	2.40
	学生＋その他	2.49	2.73	2.63	2.80	2.55	2.94	2.80	2.78
	専業主婦・主夫	2.37	2.48	2.34	2.46	2.67	2.89	2.61	2.58
	60 歳以上の無職	2.25	2.46	2.29	2.37	2.46	2.42	2.41	2.33
世帯構成	ひとり暮らし	2.52	2.65	2.53	2.65	2.57	2.75	2.49	2.55
	夫婦のみ	2.59	2.72	2.43	2.76	2.68	2.92	2.63	2.59
	2 世代世帯	2.41	2.54	2.51	2.62	2.54	2.71	2.56	2.50
	3 世代世帯	2.49	2.56	2.52	2.72	2.55	2.82	2.62	2.54
子の数	1 人	2.41	2.52	2.48	2.70	2.53	2.78	2.61	2.38
	2 人	2.48	2.61	2.49	2.71	2.62	2.86	2.58	2.62
	3 人	2.52	2.70	2.48	2.69	2.59	2.83	2.67	2.65
	4 人以上	2.36	2.54	2.31	2.48	2.58	2.86	2.56	2.54

	子どもはいない	2.37	2.44	2.40	2.53	2.42	2.59	2.46	2.38
居住年数	10 年未満	2.78	2.74	2.71	2.55	2.92	2.99	2.84	2.60
	20 年以上	2.42	2.57	2.44	2.66	2.54	2.75	2.56	2.53
広域 振興圏	県央広域振興圏	2.47	2.59	2.50	2.73	2.62	2.87	2.63	2.64
	県南広域振興圏	2.39	2.53	2.42	2.54	2.58	2.70	2.54	2.53
	沿岸広域振興圏	2.52	2.63	2.51	2.71	2.53	2.76	2.53	2.41
	県北広域振興圏	2.37	2.57	2.34	2.60	2.48	2.76	2.60	2.53

○「必要な収入や所得」に係る主な意見

No.	意見内容	発言者	区分	発言部会
1	20代のところ、やはりちょっと落ち方が大きいなというのが働いている方も、あと学生さんのほうちょっとひょっとすると厳しくなっているということもあるのかなと。2.3というのがやはり大きいので。	山田委員	意見	第2回
2	灯油代上がっているというのは、結構回答時点ではずしんと来ているかもしれないし、ガソリン代だって上がってきていましたから、どうしても特に沿岸、県北になってくると車で移動するのが普通になってくると、そこも効いてきている可能性はありますけれども。 ですから、これいつも言うことだけれども、あくまでも「必要な」という枕言葉がついているので、収入と支出のバランスの中での感覚だと思われます。そうすると、入るほうがほとんど変わらない、ないしは増えている、そういうことでもない中で、支出がどんどん増えていくという感覚はみんなあるのではないですか。そうすると、不足感が出てくるというのはよく分かる話、少なくともストーリー的にはよく分かる話だと思う。	谷藤委員	意見	第2回
3	(沿岸広域振興圏について) 復興需要がもうなくなる中で新しい産業が起きていない。そしてまた、県の復興計画というのは、水産漁業を起点とする水産加工まで含めた一連の水産業というか、それが産業復興の柱の一つという位置づけになっていたわけですがけれども、そもそも漁獲が全然不振なわけですから、ここ数年。だから、原料がないから加工も当然不振になる。そういう中で、観光も期待したほどではないのではないかなと。ラグビーのワールドカップとか、いろいろそういうイベントがあって、そのときはそれなりに盛り上がったのかもしれませんがけれども、その後経常的に人が呼べる状況になっているかどうかというのはやや疑問なところもあるし、なかなか沿岸は特に厳しいですね。	谷藤委員	意見	第2回
4	自営業がやっぱり低いのがすごく気になるのですがけれども、補足調査で見ると借金が自営業は18.8%、5人に1人が借金を想像して実感が低下していると言っている。	若菜委員	意見	第2回
5	さっき若菜委員から借金の話あったので、特に自営業主のところでは絶対数は少ないのですがけれども、自分の借金の額というのは18.8%あるというところで、自営業主ですから、恐らく事業性の資金の借入れだと思われるのです。 大きかったのは、一定期間、借入れごとに違うのですがけれども、最大3年ぐらいは無利息で返済しなくていいのだよというのがあるのです。なので、相当程度そこで借りた資金が今返済しなければいけない状態になっている、あるいは利息が発生し始めていると、そういう状況になってきている可能性があって、だからここはこの先ちょっとしつこく出てくるかもしれないということです。だから、逆に言うと、こういうのは一定の条件に当てはめて県のほうで支援策打てる可能性もあるかもしれないですね。	谷藤委員	意見	第2回

## ○補足調査における属性別分野別実感平均値

⑩必要な収入や所得が得られていると感じますか。

		H31	R 2	R 3	R 4	R 5
県計 (522)		2.71	2.87	3.02	2.88	2.82
性別	男性 (265)	2.73	2.84	2.98	2.86	2.73
	女性 (254)	2.69	2.88	3.09	2.91	2.92
	その他					
年代	18～19歳 (参考)					
	20～29歳 (25)	2.48	2.85	3.23	2.91	3.25
	30～39歳 (63)	2.68	2.83	2.96	2.85	2.61
	40～49歳 (104)	2.59	2.69	3.00	2.93	2.78
	50～59歳 (103)	2.75	2.88	3.02	2.89	2.91
	60～69歳 (99)	2.64	2.78	2.95	2.83	2.69
	70歳以上 (125)	3.06	3.04	3.13	2.90	2.92
職業	自営業主 (43)	3.09	3.02	3.09	3.14	2.88
	家族従業員 (8)	3.07	3.50	3.00	3.10	3.13
	会社役員・団体役員 (30)	2.55	3.14	3.18	2.81	3.30
	常用雇用者 (197)	2.84	2.94	3.08	3.03	2.83
	臨時雇用者 (78)	2.45	2.50	2.84	2.72	2.62
	学生＋その他 (26)	2.88	3.21	3.52	3.00	3.38
	専業主婦・主夫 (52)	2.62	3.18	3.09	2.91	3.02
	60歳未満の無職 (参考) (11)	1.83	1.22	2.27	1.86	1.88
	60歳以上の無職 (76)	2.40	2.55	2.87	2.61	2.50
可処分所得	100万円未満 (103)		2.66	2.72	2.61	2.51
	100万円以上300万円未満 (263)		2.57	2.89	2.68	2.69
	300万円以上500万円未満 (95)		3.27	3.29	3.13	3.12
	500万円以上700万円未満 (33)		4.03	3.96	3.71	3.52
	700万円以上1,000万円未満 (14)		3.79	3.72	4.50	3.57
	1,000万円以上1,500万円未満 (3)		4.25	4.00	4.33	4.00
	1,500万円以上 (2)		5.00	5.00	4.00	5.00
世帯構成	ひとり暮らし (62)	2.73	3.00	3.10	2.77	2.67
	夫婦のみ (110)	2.88	3.10	3.19	3.14	3.10
	2世代世帯 (216)	2.69	2.78	2.91	2.77	2.69
	3世代世帯 (76)	2.72	2.75	3.05	2.92	2.87
	その他 (29)	2.47	2.90	3.10	3.11	2.86
子の数	1人 (66)	2.84	2.85	3.07	2.87	2.80
	2人 (190)	2.75	2.86	3.02	2.94	2.87
	3人 (108)	2.88	3.09	3.19	3.02	2.82
	4人以上 (17)	3.20	3.33	3.39	3.24	3.44
	子どもはいない (128)	2.44	2.59	2.88	2.65	2.67
住まい	持家（一戸建て） (421)		2.89	3.04	2.87	2.82
	持家（集合住宅(マンション等)） (10)		3.50	3.33	3.07	3.30
	借家（一戸建て） (21)		2.23	2.48	2.44	2.29
	借家（集合住宅(アパート等)） (55)		2.98	3.13	3.02	2.90
	その他（社宅、寮、下宿など） (6)		2.20	3.22	3.29	2.83
居住年数	10年未満 (15)	2.33	3.00	3.12	3.15	2.79
	10～20年未満 (16)	2.76	3.30	3.00	2.89	2.56
	20年以上 (483)	2.72	2.83	3.03	2.88	2.83
広域振興圏	県央 (143)	2.74	3.05	3.25	3.13	3.09
	県南 (132)	2.68	2.80	2.95	2.66	2.77
	沿岸 (121)	2.81	2.97	3.13	3.03	2.85
	県北 (125)	2.62	2.66	2.74	2.67	2.54

( ) は、R5調査のサンプル数

分野別実感(10)「必要な収入や所得」の分布(H31とR5)

(単位：人)

H31→ R5 ↓	5 感じる	4 やや感じる	3 どちらともい えない	2 あまり感じな い	1 感じない	0 わからない (該当しな い)	不明、未 記入、複 数回答	(計)
5 感じる	18	16	7	3	3	1	0	48
4 やや感じる	16	51	18	13	12	10	1	121
3 どちらともい えない	5	30	38	25	19	9	1	127
2 あまり感じな い	4	19	16	39	31	6	2	117
1 感じない	2	7	9	20	54	2	2	96
0 わからない (該当しな い)	0	0	1	2	1	1	1	6
不明 未記入 複数回答	0	0	3	1	2	1	0	7
(計)	45	123	92	103	122	30	7	522

- ① 実感が上昇した人(斜体かつ灰色セル) 116 人  
H31からR5にかけて1段階以上上昇した人  
(ただし、H31調査「1(感じない)」→R5「2(あまり感じない)」は除く。)
- ② 実感が変化なしの人(黒色セル、白文字) 200 人
- ③ 実感が低下した人(水玉パターンのセル) 112 人  
H31からR5にかけて1段階以上低下した人。  
(ただし、H31調査「5(感じる)」→R5「4(やや感じる)」は除く。)

分野別実感の回答理由  
(10) 必要な収入や所得

補足調査

ア 実感の変化別

分 野	上昇	横ばい	低下
R2	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の金融資産の額
R3	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の支出額 エ 家族の支出額
R4	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の支出額 エ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 生活の程度 ウ 家族の収入・所得額(年金を含む)
R5	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 家族の支出額

イ 単純集計 (各調査年)

分 野	感じる・やや感じる	どちらともいえない	あまり感じない・感じない
R2	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 生活の程度 ウ 自分の支出額	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の金融資産の額
R3	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の支出額	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の金融資産の額
R4	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の支出額
R5	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 生活の程度	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の支出額	ア 自分の収入・所得額(年金を含む) イ 家族の収入・所得額(年金を含む) ウ 自分の支出額





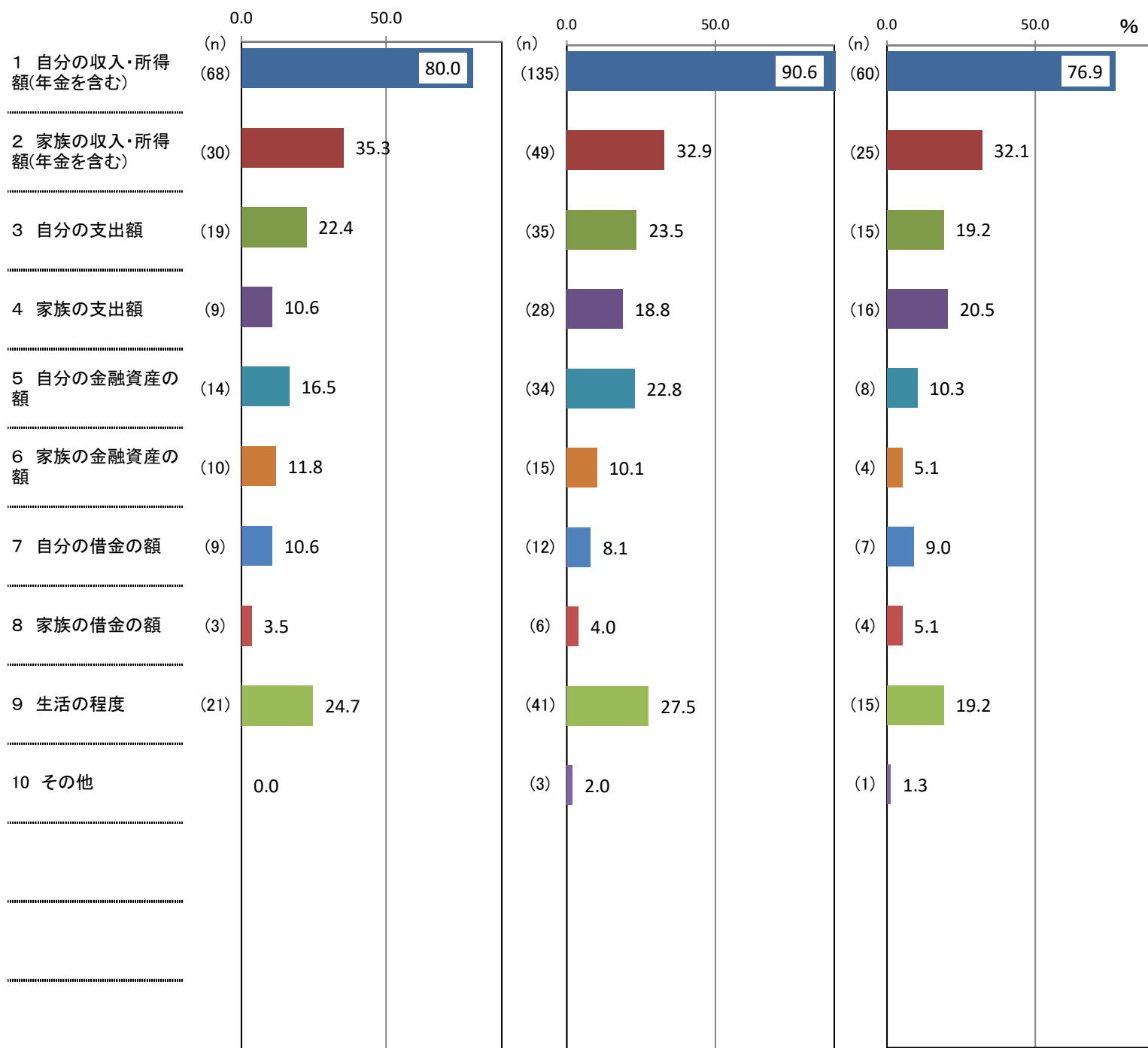
## (1)分野別実感の変化別

### 【補足調査】

#### 分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」(H31-R5) (勤労属性に限る)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (183) 85 人	② 実感が横ばいの人 の回答 (358) 149 人	③ 実感が低下した人 の回答 (155) 78 人
1	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (68)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (135)	1 自分の収入・所得額(年金を含む) (60)
2	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (30)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (49)	2 家族の収入・所得額(年金を含む) (25)
3	9 生活の程度 (21)	9 生活の程度 (41)	4 家族の支出額 (16)

( )内の数字は件数。



↑ 理由別件数／該当者数×100

【補足調査】

(10)「必要な収入や所得」についての回答理由(問1-1(10)①「あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

(%)											
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		80.0	35.3	22.4	10.6	16.5	11.8	10.6	3.5	24.7	0.0
② 実感が横ばいの人		90.6	32.9	23.5	18.8	22.8	10.1	8.1	4.0	27.5	2.0
③ 実感が低下した人		76.9	32.1	19.2	20.5	10.3	5.1	9.0	5.1	19.2	1.3

(件)											
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R4[2]は除く。 (サンプル数=85人)	183	68	30	19	9	14	10	9	3	21	0
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=149人)	358	135	49	35	28	34	15	12	6	41	3
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R4[4]は除く。 (サンプル数=78人)	155	60	25	15	16	8	4	7	4	15	1

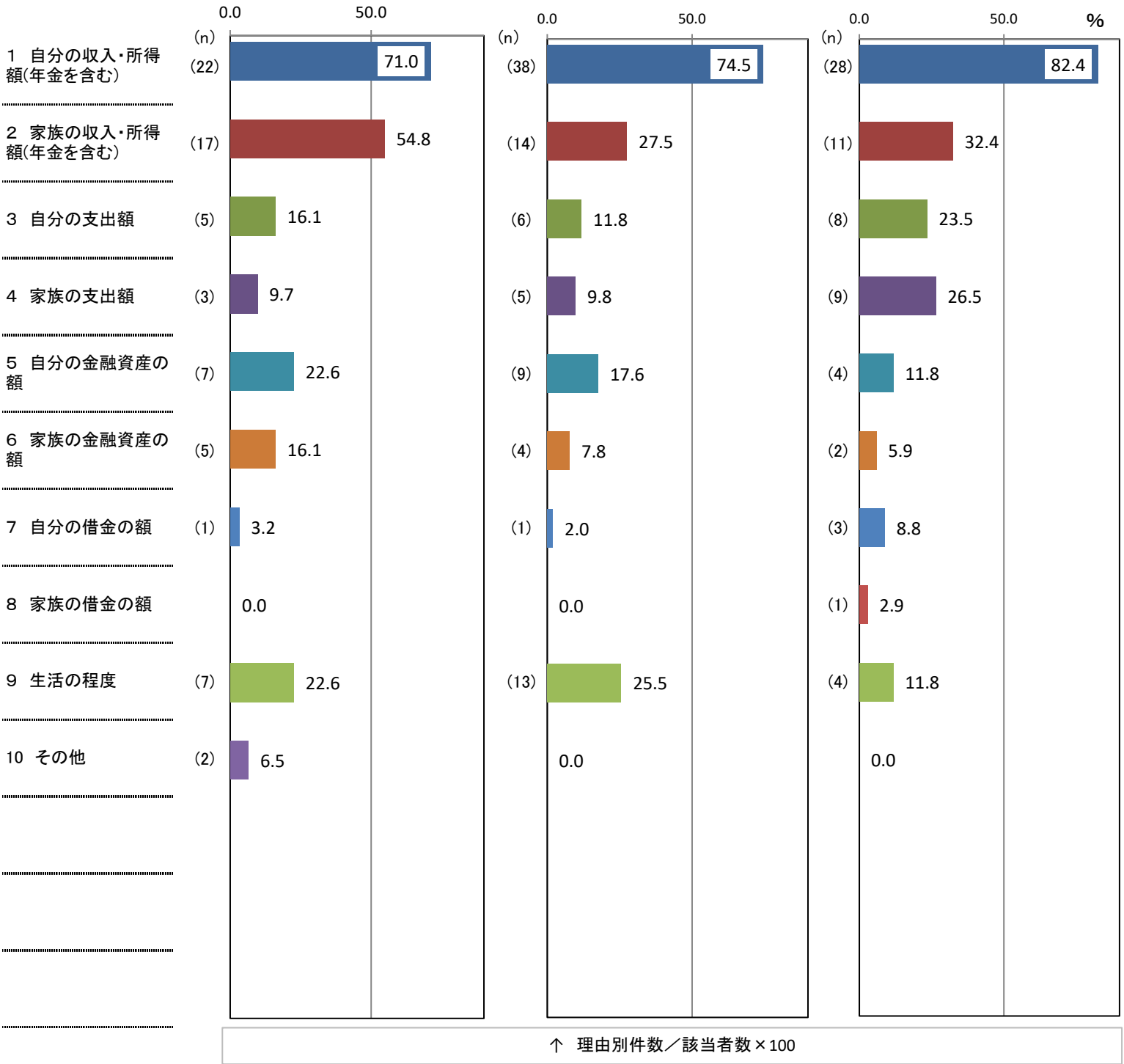
(1)分野別実感の変化別

【補足調査】

分野別実感の理由別分析「必要な収入や所得」(H31-R5) (勤労属性を除く)

上位3項目	① 実感が上昇した人 の回答 (31)	② 実感が横ばいの人 の回答 (51)	③ 実感が低下した人 の回答 (34)
	31 人	51 人	34 人
1	1  自分の収入・所得額(年金を含む) (22)	1  自分の収入・所得額(年金を含む) (38)	1  自分の収入・所得額(年金を含む) (28)
2	2  家族の収入・所得額(年金を含む) (17)	2  家族の収入・所得額(年金を含む) (14)	2  家族の収入・所得額(年金を含む) (11)
3	5  自分の金融資産の額 (7)	9  生活の程度 (13)	4  家族の支出額 (9)
	9  生活の程度 (7)		

( )内の数字は件数。



【補足調査】  
(10)「必要な収入や所得」についての回答理由(問1-1(10)①「あなたは必要な収入や所得が得られていると感じますか。」の次の「②そのように回答した理由として、関連の強い要因全てに○をつけてください。」に対する回答(複数回答可)

(%)											
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人		71.0	54.8	16.1	9.7	22.6	16.1	3.2	0.0	22.6	6.5
② 実感が横ばいの人		74.5	27.5	11.8	9.8	17.6	7.8	2.0	0.0	25.5	0.0
③ 実感が低下した人		82.4	32.4	23.5	26.5	11.8	5.9	8.8	2.9	11.8	0.0

(件)											
区分	計	1 自分の収入・所得額(年金を含む)	2 家族の収入・所得額(年金を含む)	3 自分の支出額	4 家族の支出額	5 自分の金融資産の額	6 家族の金融資産の額	7 自分の借金の額	8 家族の借金の額	9 生活の程度	10 その他
① 実感が上昇した人 ただし、H31「1」→R4[2]は除く。 (サンプル数=31人)	31	22	17	5	3	7	5	1	0	7	2
② 実感が横ばいの人 (サンプル数=51人)	51	38	14	6	5	9	4	1	0	13	0
③ 実感が低下した人 ただし、H31「5」→R4[4]は除く。 (サンプル数=34人)	34	28	11	8	9	4	2	3	1	4	0

- ① 実感が上昇した人の「その他」コメント(116名中0名記載)
- ② 実感が横ばいの人「その他」コメント(200名中1名記載)  
・パート職員
- ③ 実感が低下した人の「その他」コメント(112名中1名記載)  
・子育て費用